

山鹿市総合戦略等に関する
市民アンケート調査結果
(概要版)

令和4年3月
山鹿市 秘書政策課

I. 市民アンケート調査概要

1. アンケート調査の目的

総合戦略は、年度ごとの進捗管理を行い、適宜変更、見直しを行いながら総合戦略に掲げた目標の達成を目指している。進捗管理の中で、担当課による内部検証とあわせ、市民の認知度や満足度を把握し、次年度以降の戦略に反映させることを目的としている。

2. 調査対象

山鹿市在住の市民を無作為に抽出した 3,000 人

3. 調査事項

- (1) ご自身の現在の状況について（問1～問5）
- (2) 山鹿市の現状について（問6～問9）
- (3) 人口政策について（問10～問11）
- (4) 経済政策について（問12～問13）
- (5) 山鹿市総合計画について（問14～問15）
- (6) 山鹿市に対する考えについて（問16～問20）

4. 調査期間

令和4年1月6日（木）～1月28日（金）

5. 調査方法

郵送による調査票の配布

郵送またはインターネットによる回答

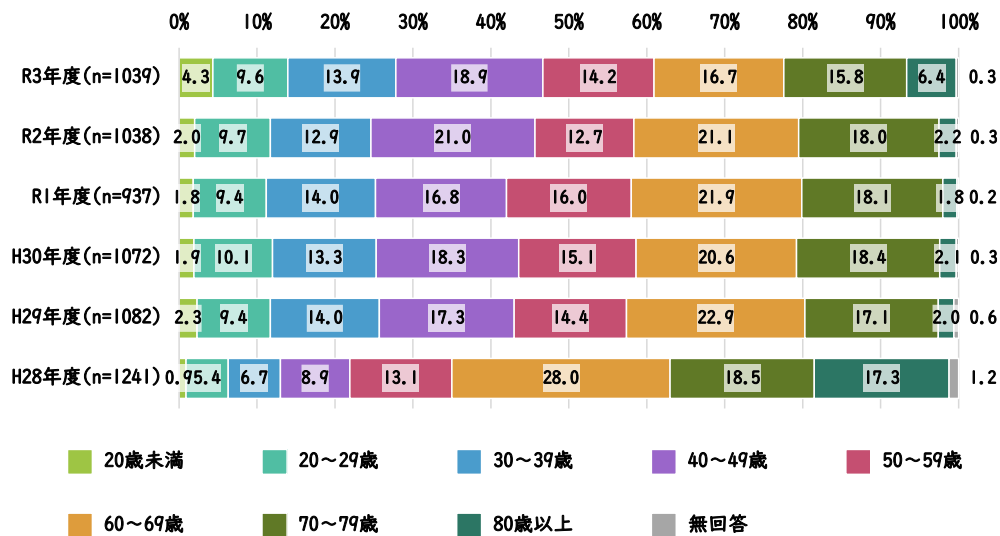
6. 回収状況

回答方法	配布部数	回収数	回収率
郵送	3,000	817	27.2%
インターネット		222	7.4%
計		1,039	34.6%

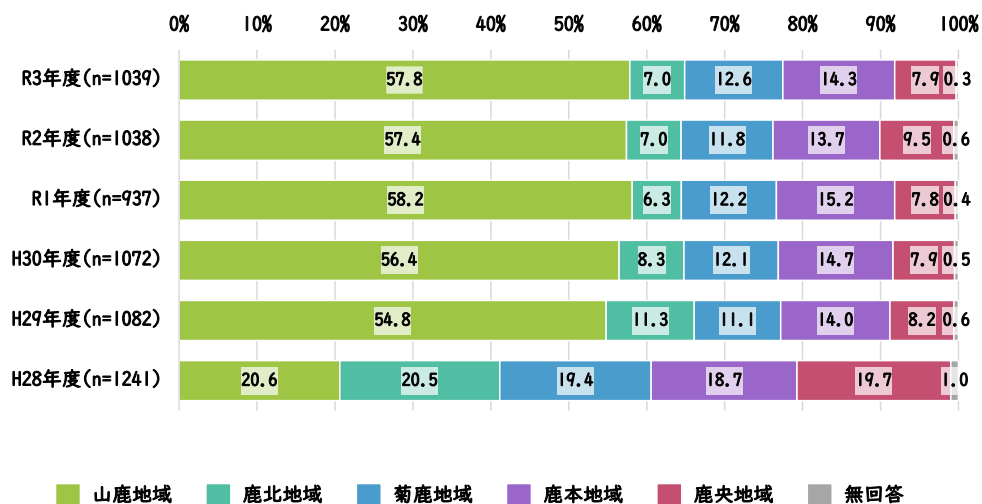
回答者ご自身の現状

- 年代別では、「40代」が18.9%と最も高く、「50代以降」の合計が53.1%と半数を超えている。
- 地域別では、「山鹿地域」が約6割を占めている。
- 過去調査と比較した地域別構成比は、H29年度以降ほとんど変わらない。

【年齢別】



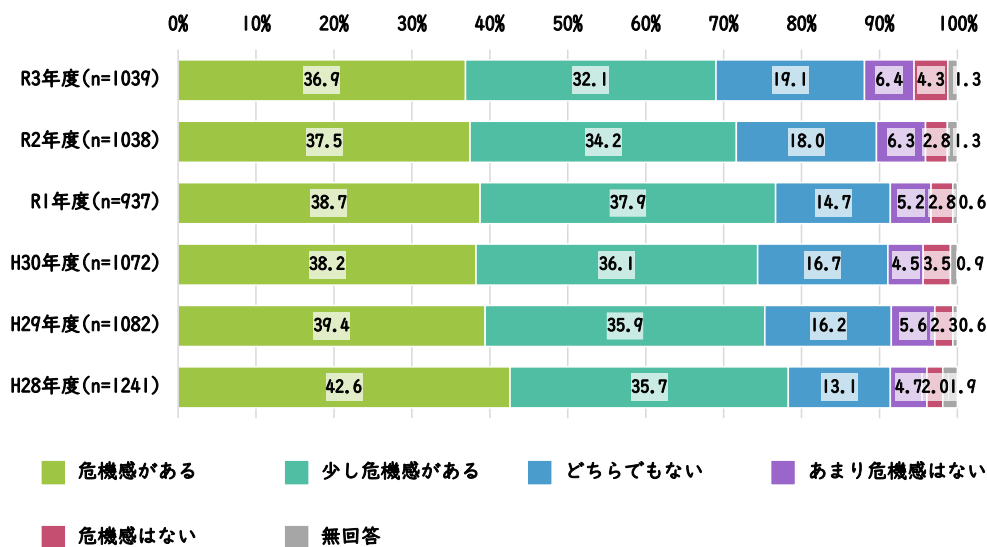
【地区別】



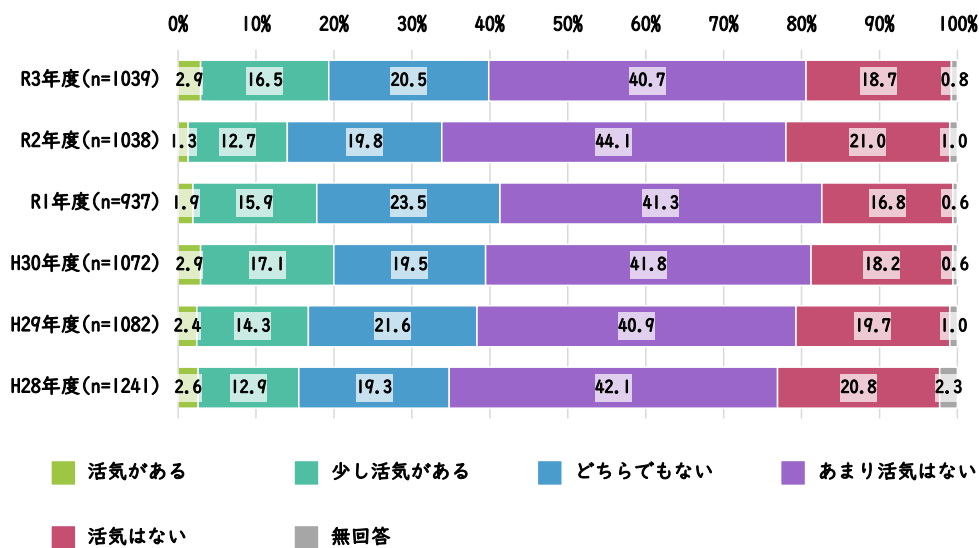
山鹿市の現状について（人口減少、元気度）

- 山鹿市の人口減少については、「危機感がある」が 36.9%、「少し危機感がある」が 32.1%となっており、約 7 割が危機感を感じている。
- 山鹿市の元気度については、「元気がある」「少し元気がある」の合計 19.4%に対し、「元気はない」「あまり元気はない」の合計は 59.4%となっており、約 6 割が元気がないと感じている。

【問 6 山鹿市の人口減少について】（全体）



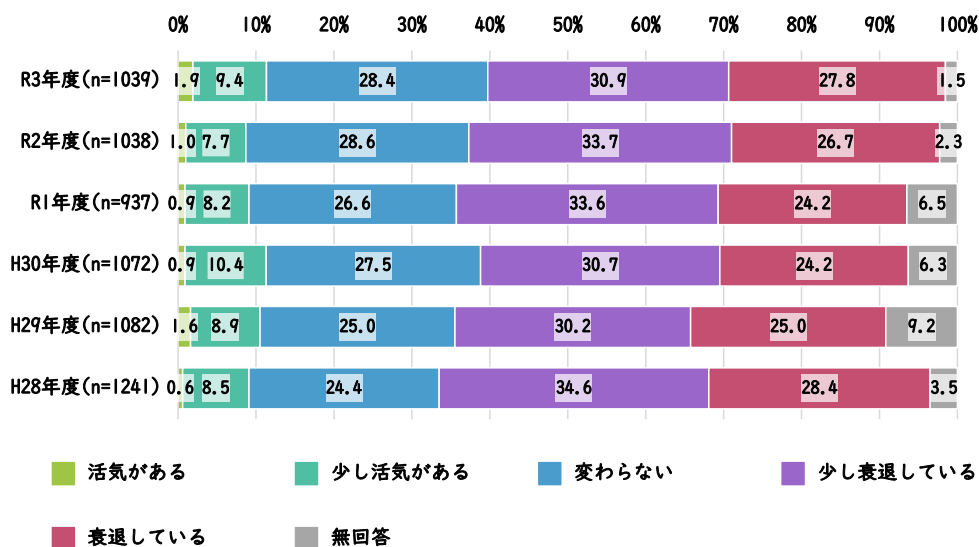
【問 7 山鹿市の元気度について】（全体）



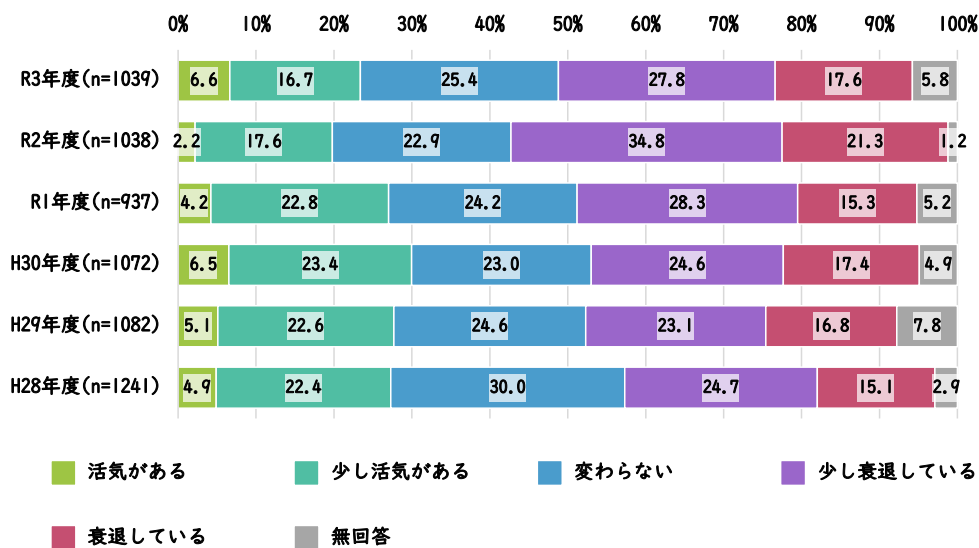
山鹿市の現状について（農林業、観光産業）

- 農林業の現状については、「活気がある」「少し活気がある」の合計は 11.3%で、「衰退している」「少し衰退している」の合計は 58.7%となっている。
- 観光産業の現状については、「活気がある」「少し活気がある」の合計は 23.3%、「衰退している」「少し衰退している」の合計は 45.4%となっている。

【問8 山鹿市の基幹産業である農林業について現状をどう思われますか】（全体）



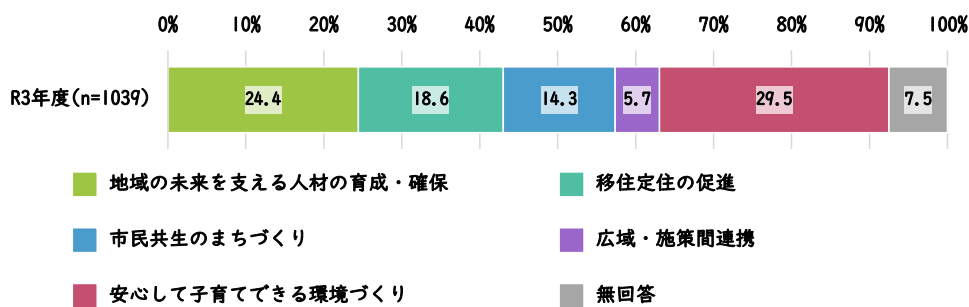
【問9 山鹿市が力を入れている山鹿灯籠などの観光産業について現状をどう思われますか】（全体）



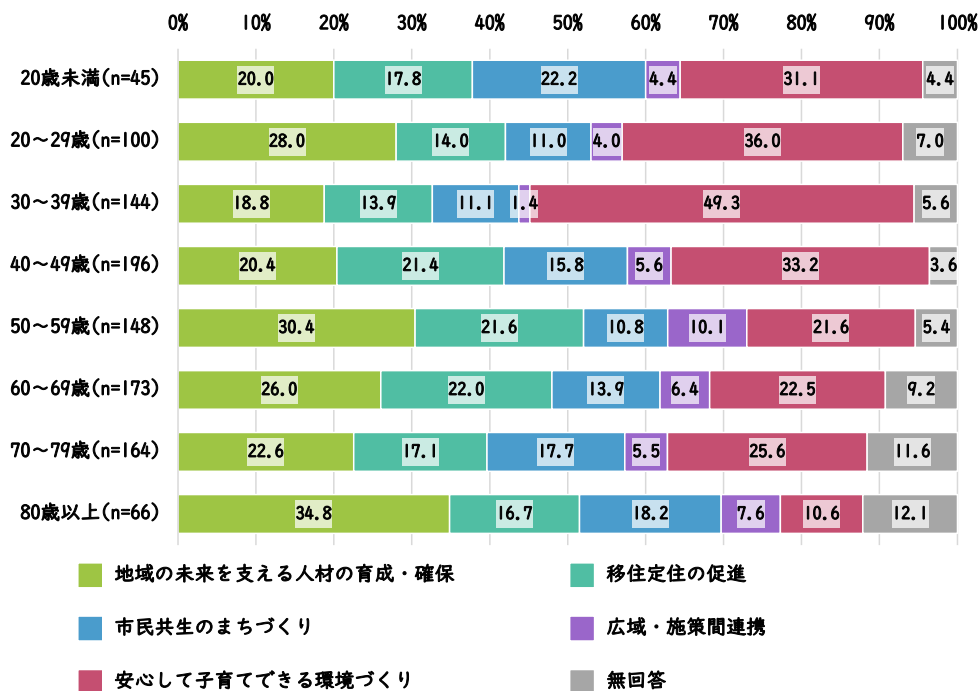
人口政策について（充実して欲しい取組）

- 人口政策で充実して欲しい取組については、「安心して子育てできる環境づくり」が29.5%と最も高く、次いで「地域の未来を支える人材の育成・確保」24.4%、移住定住の促進18.6%となっている。
- 年代別では、40代以下、70代では「安心して子育てできる環境づくり」の割合が、50代、60代、80歳以上では「地域の未来を支える人材の育成・確保」の割合が最も高くなっている。

【問10 山鹿市総合戦略における、人口政策で
もっとも充実して欲しい取組について】（全体）



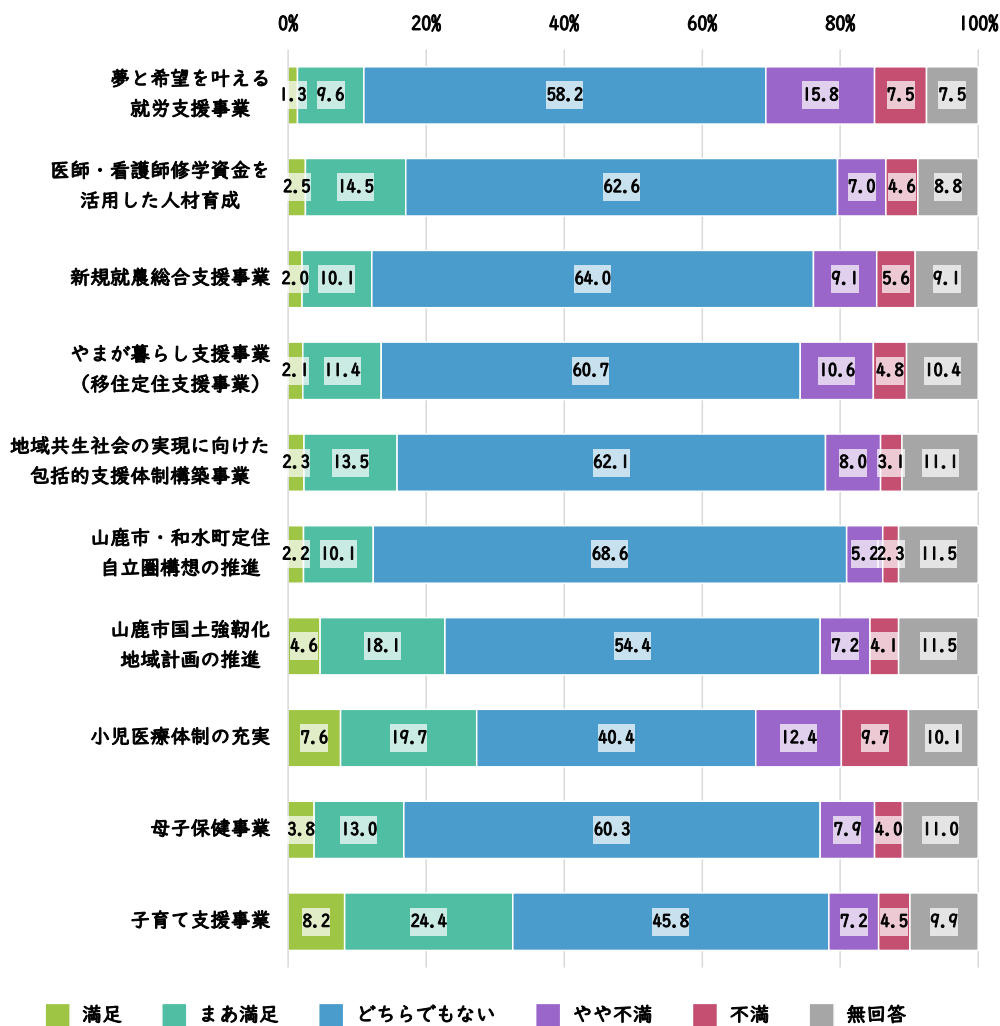
【問10 山鹿市総合戦略における、人口政策で
もっとも充実して欲しい取組について】（年代別）



人口政策について（満足度と重要度）

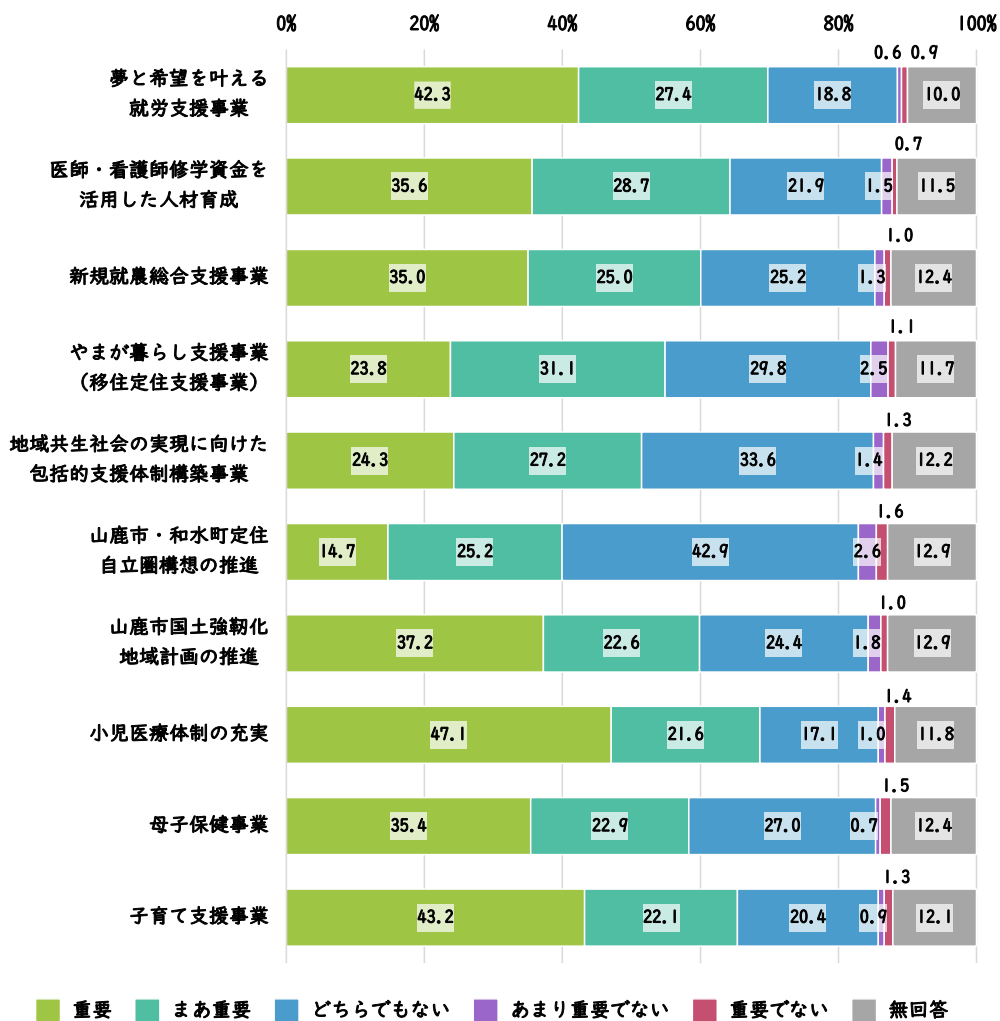
- 人口政策の満足度について、「満足」「まあ満足」の合計が最も高いのは「子育て支援事業」32.6%、「やや不満」「不満」の合計が最も高いのは「夢と希望を叶える就労支援事業」23.3%となっている。

【問11 山鹿市で取り組んでいる人口政策の満足度】



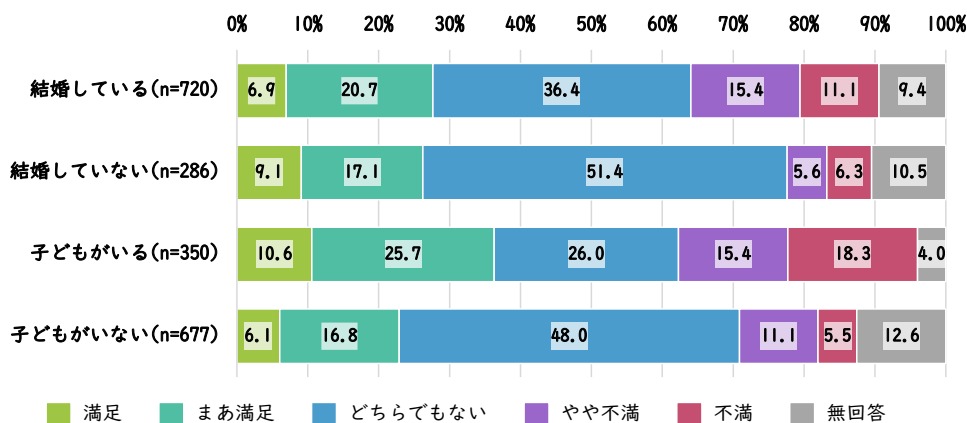
・人口政策の重要度について、山鹿市・和水町定住自立圏構想の推進以外は「重要」「まあ重要」の合計が5割を超えて高くなっている。その中でも「夢と希望を叶える就労支援事業」が69.7%と最も高く、次いで「小児医療体制の充実」68.7%、「子育て支援事業」65.3%となっている。

【問11 山鹿市で取り組んでいる人口政策の重要度】



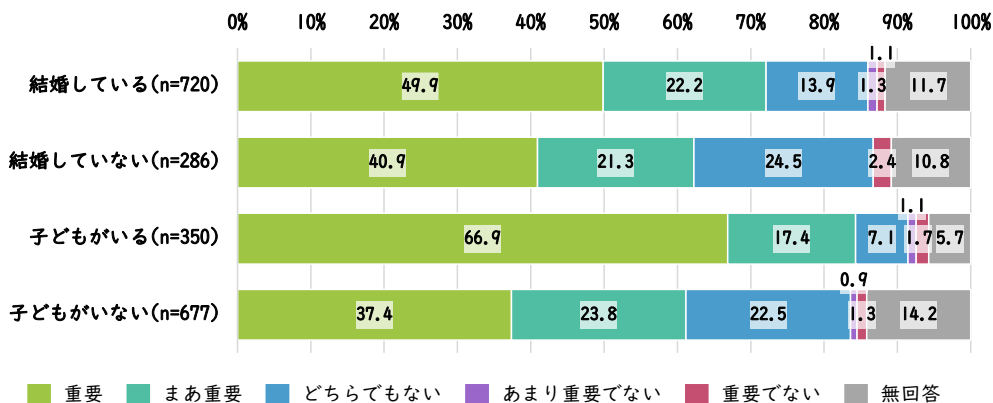
- 小児医療体制の充実の満足度について、「子どもがいる」では「満足」「まあ満足」の合計が36.3%、「やや不満」「不満」の合計が33.7%と満足・不満足のどちらの割合においても最も高くなっている。「結婚している」「結婚していない」「子どもがいない」では「どちらでもない」が最も高くなっている。

【小児医療体制の充実×満足度】



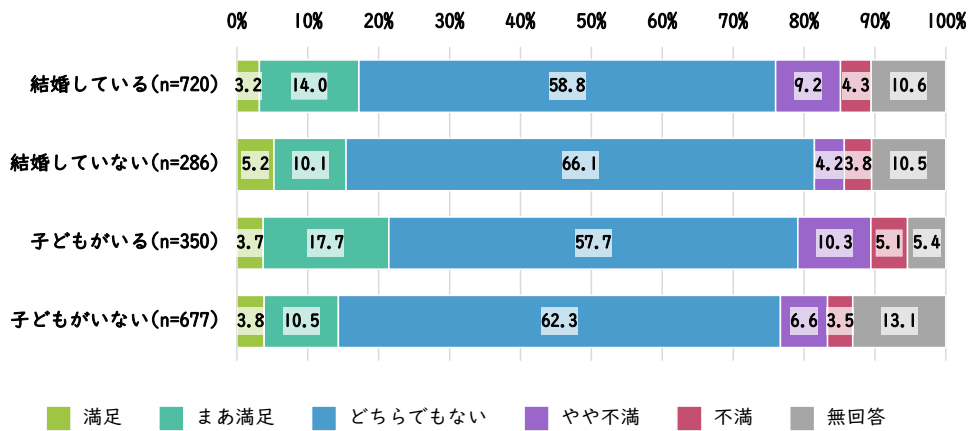
- 小児医療体制の充実の重要度について、どの回答者も「重要」「まあ重要」の合計が最も高くなっているが、特に「子どもがいる」では84.3%と8割を超えて高くなっている。

【小児医療体制の充実×重要度】



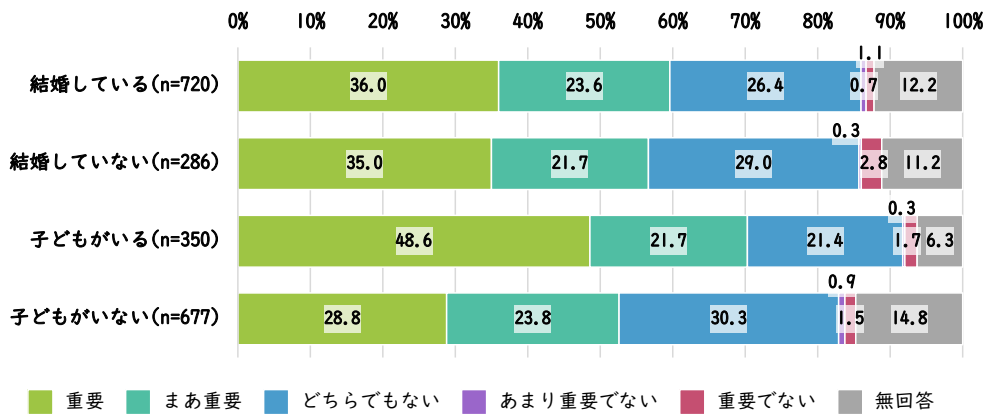
• 母子保健事業の満足度について、どの回答者も「どちらでもない」が最も高くなっている。

【母子保健事業×満足度】



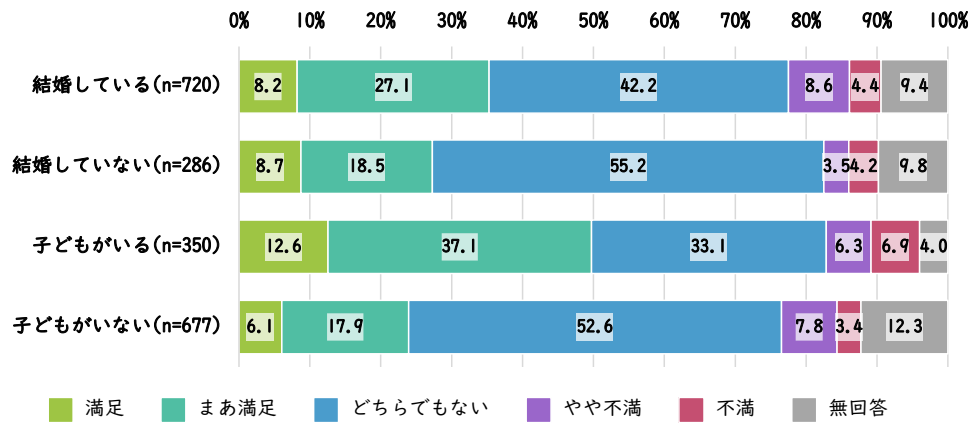
• 母子保健事業の重要度について、どの回答者も「重要」「まあ重要」の合計が最も高くなっているが、特に「子どもがいる」では70.3%と7割を超えて高くなっている。

【母子保健事業×重要度】



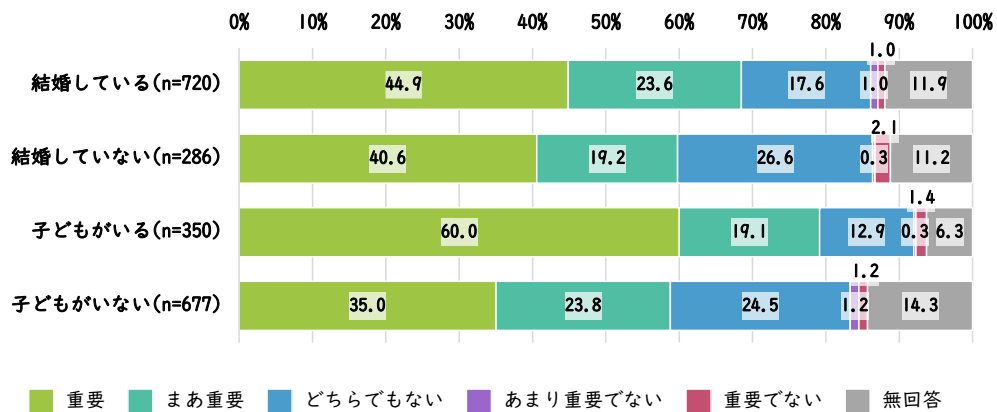
- 子育て支援事業の満足度について、「満足」「まあ満足」の合計が最も高いのは「子どもがいる」49.7%となっており、「結婚している」「結婚していない」「子どもがない」では「どちらでもない」が最も高くなっている。

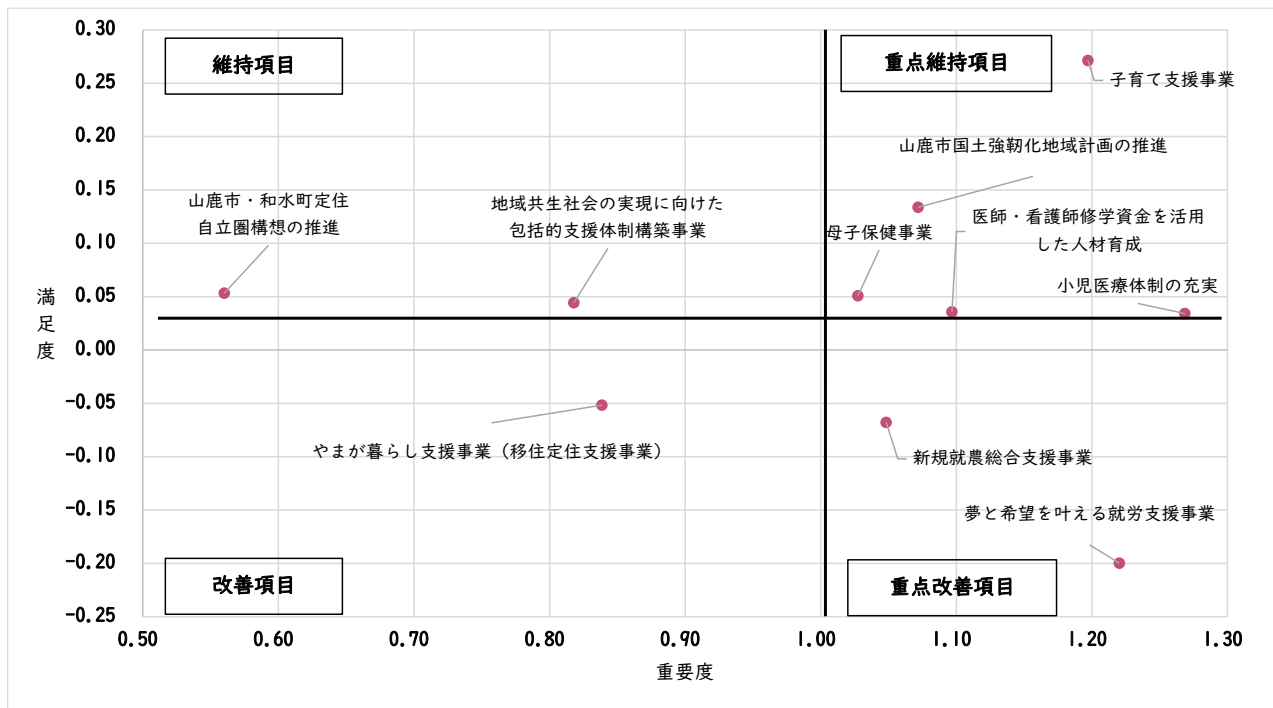
【子育て支援事業×満足度】



- 子育て支援事業の重要度について、どの回答者も「重要」「まあ重要」の合計が最も高くなっているが、特に「子どもがいる」では79.1%と8割に近い割合で高くなっている。

【子育て支援事業×重要度】





重要度・満足度の中心線は、全各施策の平均値。

	重要度	満足度
夢と希望を叶える就労支援事業	1.22	-0.20
医師・看護師修学資金を活用した人材育成	1.10	0.04
新規就農総合支援事業	1.05	-0.07
やまが暮らし支援事業（移住定住支援事業）	0.84	-0.05
地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制構築事業	0.82	0.04
山鹿市・和水町定住自立圏構想の推進	0.56	0.05
山鹿市国土強靱化地域計画の推進	1.07	0.13
小児医療体制の充実	1.27	0.03
母子保健事業	1.03	0.05
子育て支援事業	1.20	0.27
平均	1.01	0.03

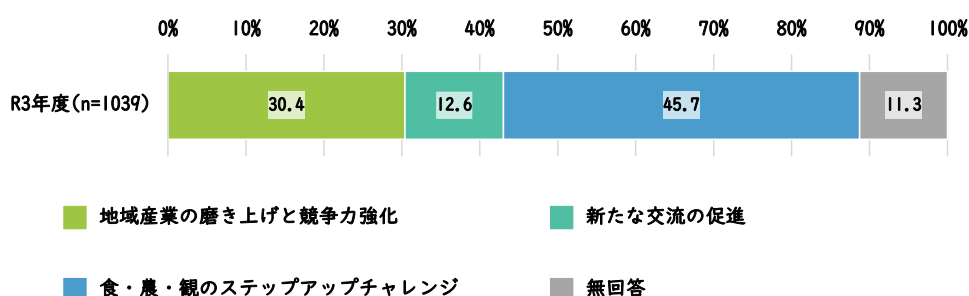
※赤い網掛けは平均よりも高いことを示している。

<p>維持項目</p> <p>満足度こそ高いものの、重要度は低い項目。当面は現状維持をしていけばいい項目でもある。</p>	<p>重点維持項目</p> <p>重要度も満足度も高い項目。今後も満足度を下げないために努力を重ねることが重要な項目でもある。</p>
<p>改善項目</p> <p>満足度と重要度ともに低い項目。満足度が低いため改善の余地はあるが、重要度も低いため優先度は低い。</p>	<p>重点改善項目</p> <p>これは重要度が高いのにも関わらず市民から満足されていない項目。最優先して課題の改善に取り掛かる必要がある。</p>

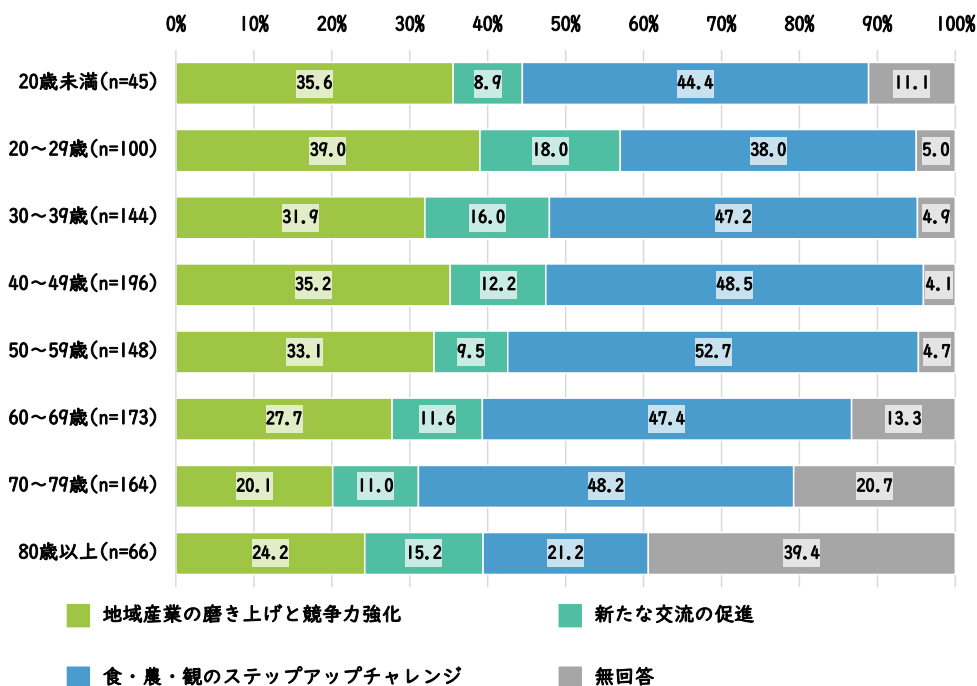
経済政策について（充実して欲しい取組）

- 経済政策で充実して欲しい取組については、「食・農・観のステップアップチャレンジ」の割合が45.7%と最も高く、次いで「地域産業の磨き上げと競争力強化」30.4%、「新たな交流の促進」12.6%となっている。
- 年代別では、50代で「食・農・観のステップアップチャレンジ」の割合が52.7%と他の年代より高くなっている。

【問12 山鹿市総合戦略における、経済政策で
もっとも充実して欲しい取組について】（全体）



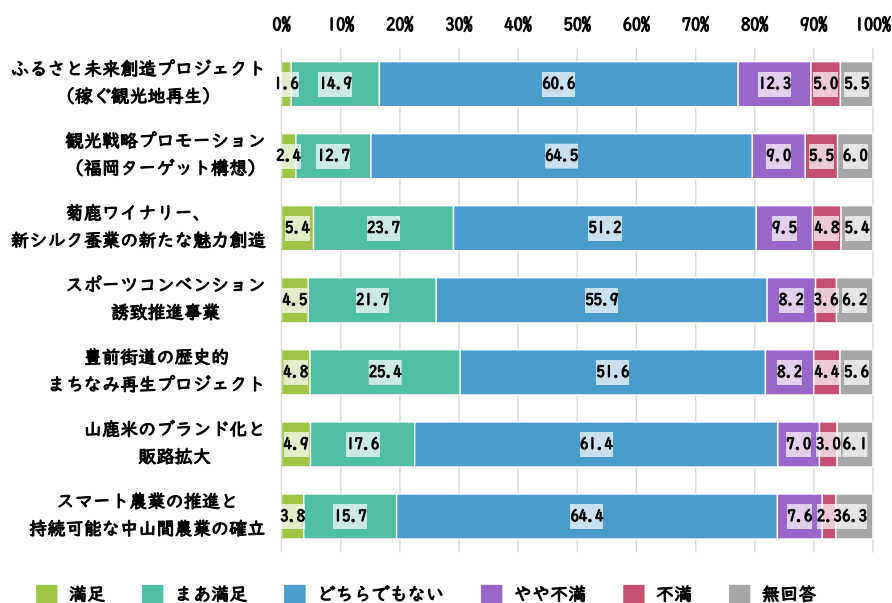
【問12 山鹿市総合戦略における、経済政策で
もっとも充実して欲しい取組について】（年代別）



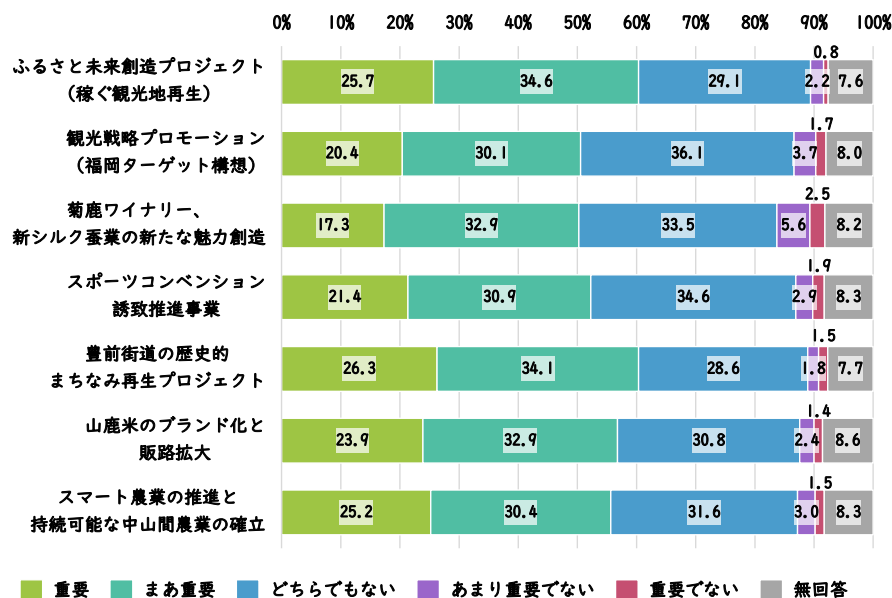
経済政策について（満足度と重要度）

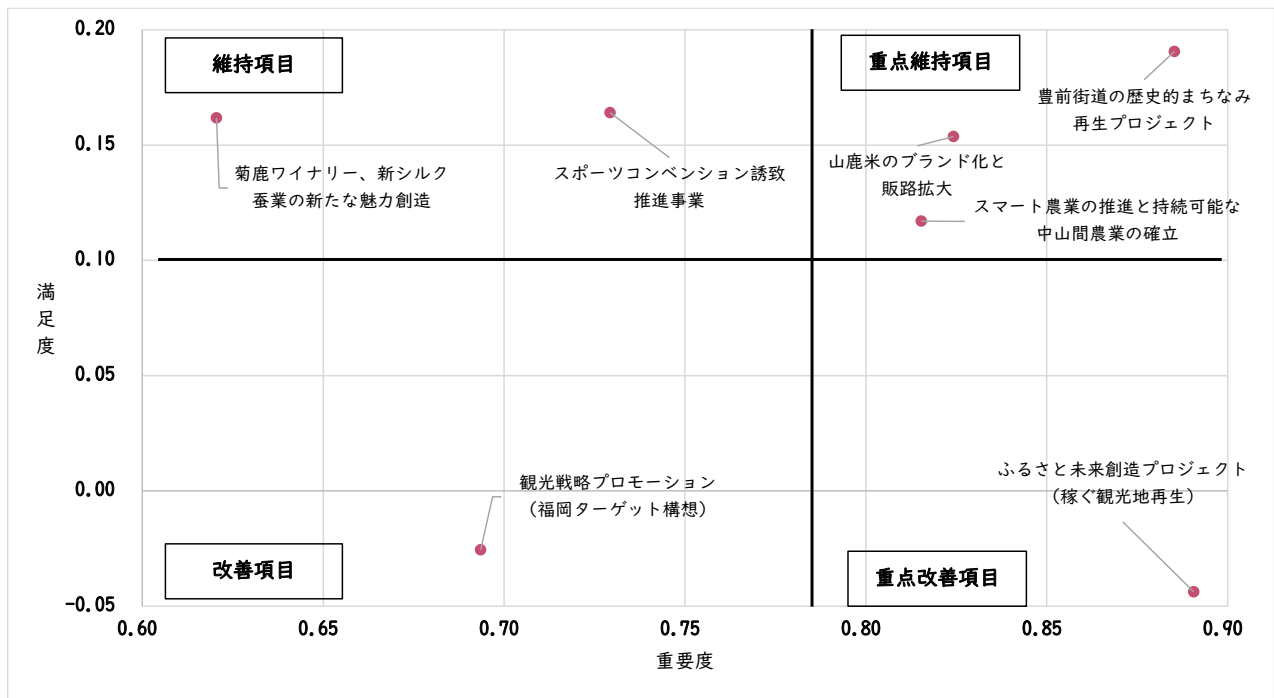
- 経済政策の満足度について、「満足」「まあ満足」の合計が最も高いのは「豊前街道の歴史的まちなみ再生プロジェクト」30.2%、「やや不満」「不満」の合計が最も高いのは「ふるさと未来創造プロジェクト（稼ぐ観光地再生）」17.3%となっている。
- 経済政策の重要度について、どの項目も「重要」「まあ重要」の合計が5割を超えて高くなっているが、その中でも「豊前街道の歴史的まちなみ再生プロジェクト」、「ふるさと未来創造プロジェクト（稼ぐ観光地再生）」は6割を超えて高くなっている。

【問13 山鹿市で取り組んでいる経済政策の満足度】



【問13 山鹿市で取り組んでいる経済政策の重要度】





重要度・満足度の中心線は、全各施策の平均値。

	重要度	満足度
ふるさと未来創造プロジェクト（稼ぐ観光地再生）	0.89	-0.04
観光戦略プロモーション（福岡ターゲット構想）	0.69	-0.03
菊鹿ワイナリー、新シルク蚕業の新たな魅力創造	0.62	0.16
スポーツコンベンション誘致推進事業	0.73	0.16
豊前街道の歴史的まちなみ再生プロジェクト	0.89	0.19
山鹿米のブランド化と販路拡大	0.82	0.15
スマート農業の推進と持続可能な中山間農業の確立	0.82	0.12
平均	0.78	0.10

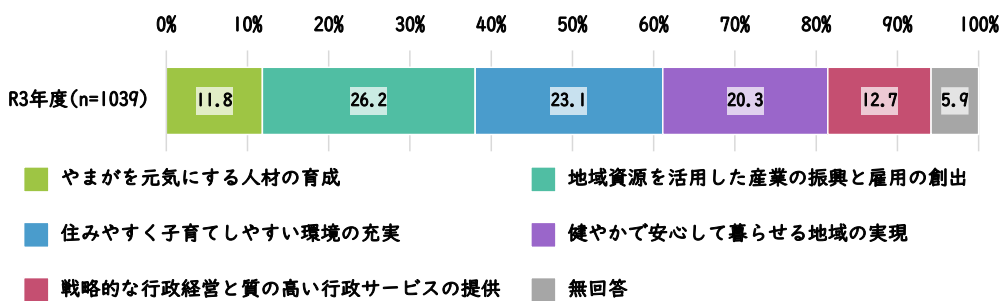
※赤い網掛けは平均よりも高いことを示している。

<p>維持項目</p> <p>満足度こそ高いものの、重要度は低い項目。当面は現状維持をしていけばいい項目でもある。</p>	<p>重点維持項目</p> <p>重要度も満足度も高い項目。今後も満足度を下げないために努力を重ねることが重要な項目でもある。</p>
<p>改善項目</p> <p>満足度と重要度ともに低い項目。満足度が低いため改善の余地はあるが、重要度も低いため優先度は低い。</p>	<p>重点改善項目</p> <p>これは重要度が高いのにも関わらず市民から満足されていない項目。最優先して課題の改善に取り掛かる必要がある。</p>

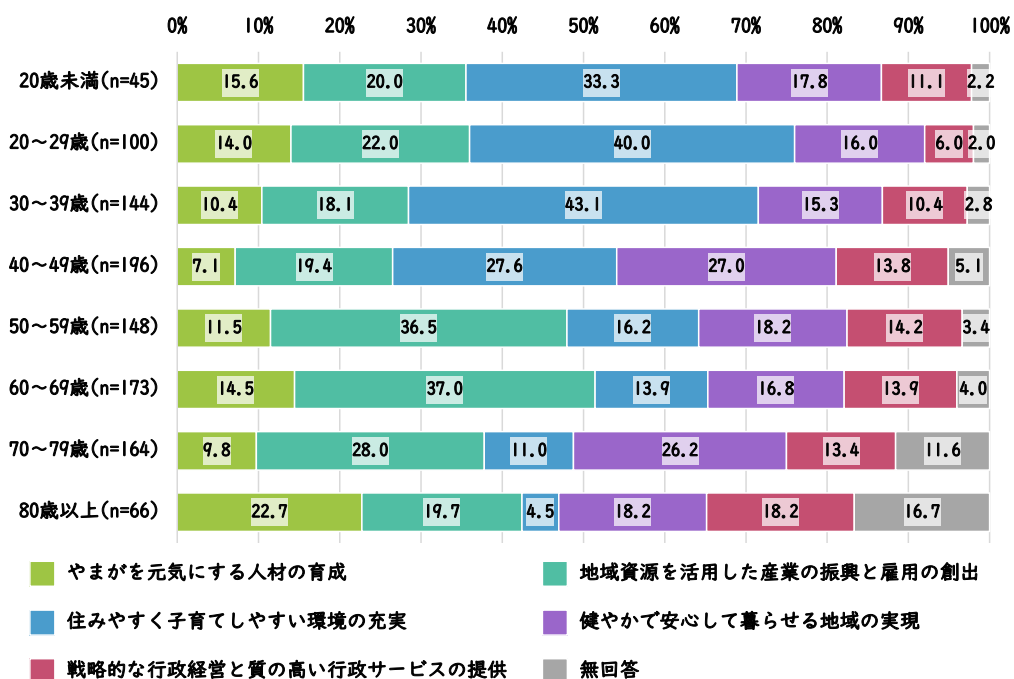
山鹿市総合計画について（将来都市像実現のために重要と思われるもの）

- 将来都市像実現のために重要と思うものについては、「地域資源を活用した産業の振興と雇用の創出」の割合が 26.2%と最も高く、次いで「住みやすく子育てしやすい環境の充実」23.1%、「健やかで安心して暮らせる地域の実現」20.3%となっている。
- 年代別では、40代までは「住みやすく子育てしやすい環境の充実」、50代から70代までは「地域資源を活用した産業の振興と雇用の創出」、80歳以上では「やまがを元気にする人材の育成」の割合が最も高くなっている。

【問14 「人輝き飛躍する都市 やまが」実現のために、
もっとも重要と思われるものについて】（全体）



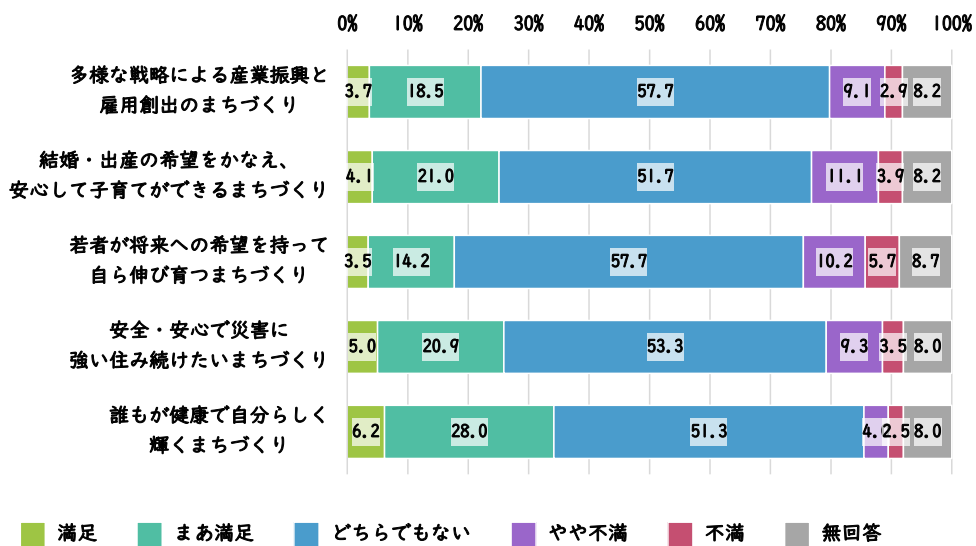
【問14 「人輝き飛躍する都市 やまが」実現のために、
もっとも重要と思われるものについて】（年代別）



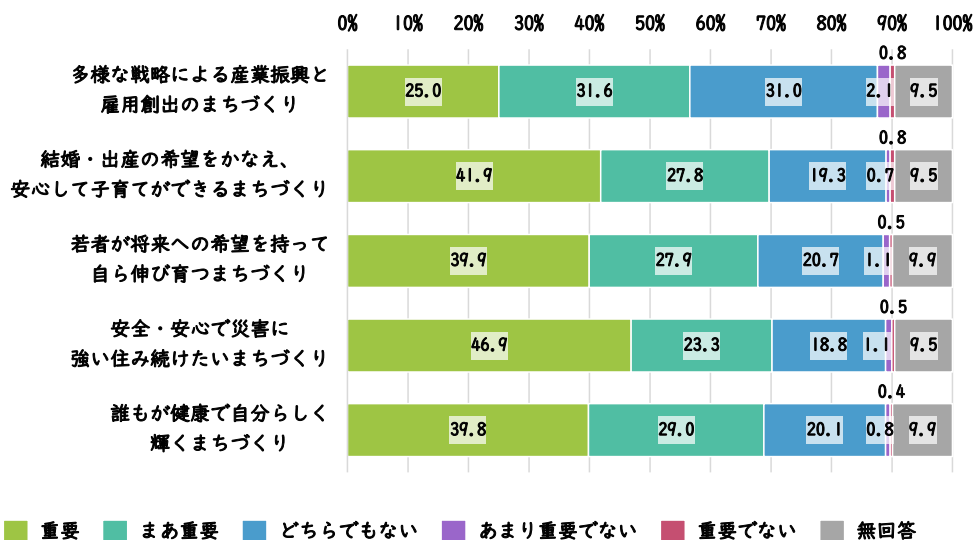
山鹿市総合計画について（満足度と重要度）

- 総合計画の先導施策の満足度について、「満足」「まあ満足」の合計が最も高いのは「誰もが健康で自分らしく輝くまちづくり」34.2%、「やや不満」「不満」の合計が最も高いのは「若者が将来への希望を持って自ら伸び育つまちづくり」15.9%となっている。
- 重要度について、どの項目も「重要」「まあ重要」の合計が5割を超えて高くなっているが、その中でも「安全・安心で災害に強い住み続けたいまちづくり」が70.2%と7割を超えて高くなっている。

【問15 山鹿市で取り組んでいる山鹿市総合計画の先導施策の満足度】

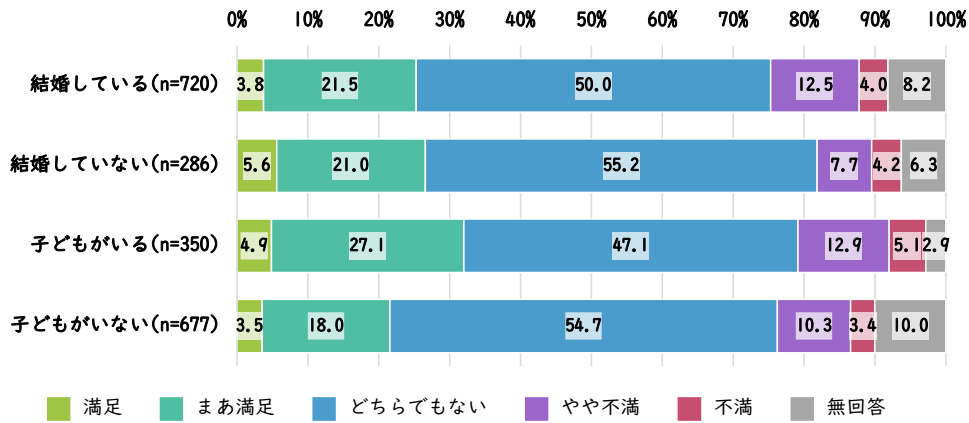


【問15 山鹿市で取り組んでいる山鹿市総合計画の先導施策の重要度】



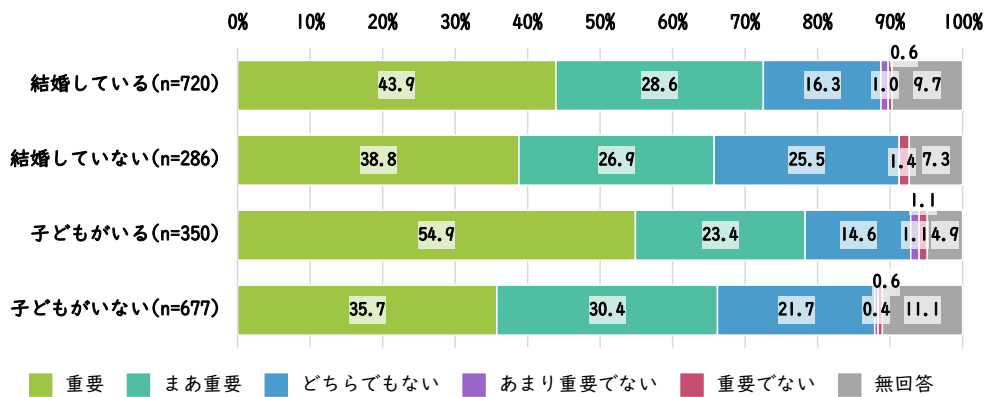
・結婚・出産の希望をかなえ、安心して子育てができるまちづくりの満足度について、どの回答者も「どちらでもない」が最も高くなっている。

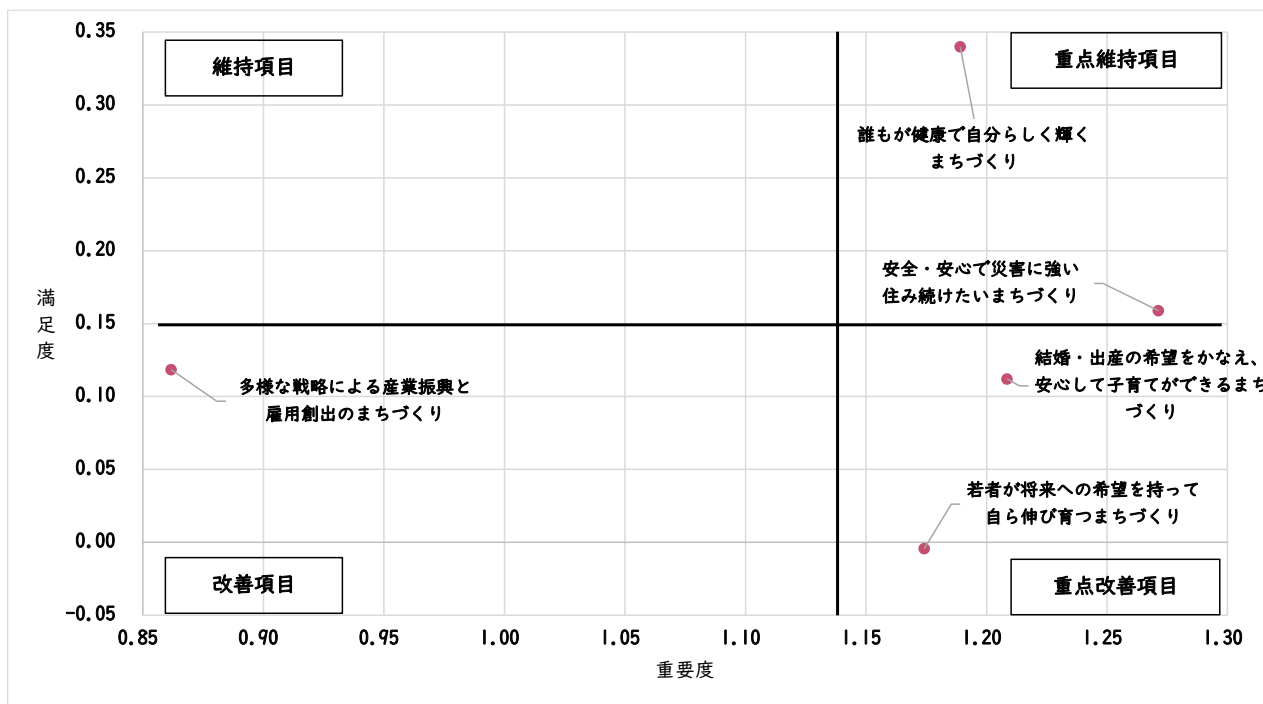
【結婚・出産の希望をかなえ、安心して子育てができるまちづくり×満足度】



・結婚・出産の希望をかなえ、安心して子育てができるまちづくりの重要度について、どの回答者も「重要」「まあ重要」の合計が最も高くなっているが、特に「結婚している」「子どもがいる」では7割を超えて高くなっている。

【結婚・出産の希望をかなえ、安心して子育てができるまちづくり×重要度】





重要度・満足度の中心線は、全各施策の平均値。

	重要度	満足度
多様な戦略による産業振興と雇用創出のまちづくり	0.86	0.12
結婚・出産の希望をかなえ、安心して子育てができるまちづくり	1.21	0.11
若者が将来への希望を持って自ら伸び育つまちづくり	1.17	0.00
安全・安心で災害に強い住み続けたいまちづくり	1.27	0.16
誰もが健康で自分らしく輝くまちづくり	1.19	0.34
平均	1.14	0.15

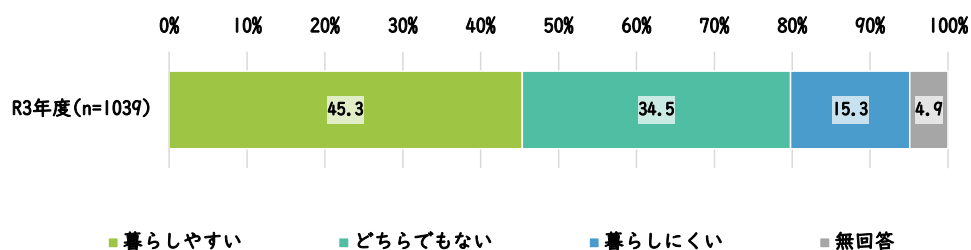
※赤い網掛けは平均よりも高いことを示している。

<p>維持項目</p> <p>満足度こそ高いものの、重要度は低い項目。当面は現状維持をしていけばいい項目でもある。</p>	<p>重点維持項目</p> <p>重要度も満足度も高い項目。今後も満足度を下げないために努力を重ねることが重要な項目でもある。</p>
<p>改善項目</p> <p>満足度と重要度ともに低い項目。満足度が低いため改善の余地はあるが、重要度も低いため優先度は低い。</p>	<p>重点改善項目</p> <p>これは重要度が高いのにも関わらず市民から満足されていない項目。最優先して課題の改善に取り掛かる必要がある。</p>

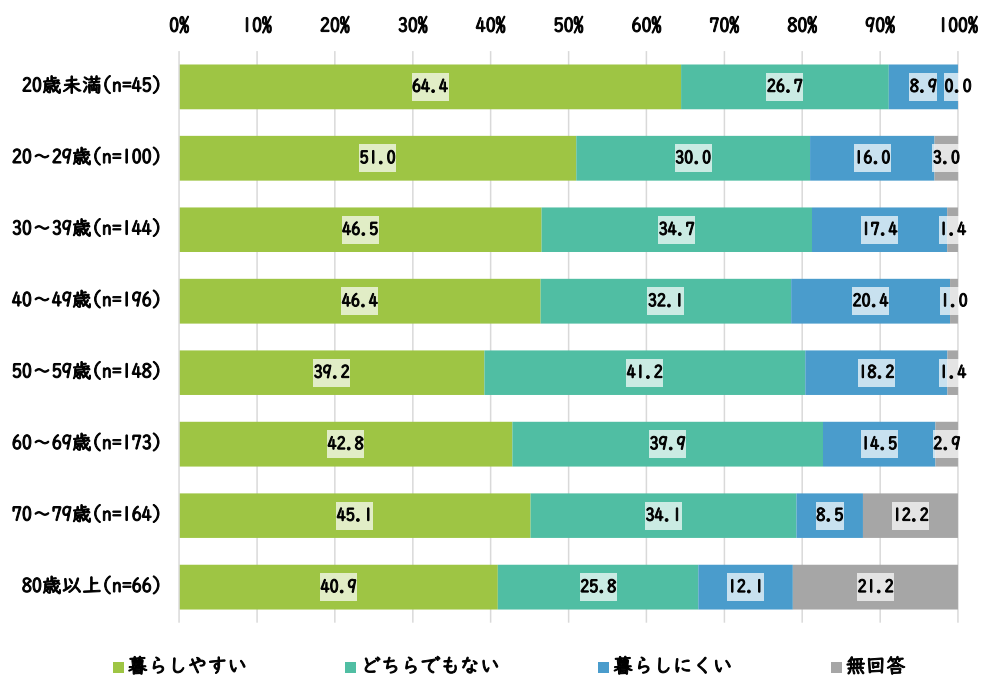
山鹿市に対する考えについて（暮らしやすさ）

- 山鹿市の暮らしやすさについては、「暮らしやすい」が 45.3%、「暮らしにくい」が 15.3%、「どちらでもない」が 34.5%となっている。
- 年代別では、50代は「どちらでもない」の割合が、50代以外はどの年代も「暮らしやすい」の割合が最も高くなっているが、40代では「暮らしにくい」の割合が 20.4%と他の年代に比べて高くなっている。

【問16 山鹿市は暮らしやすい街だと思いますか】（全体）



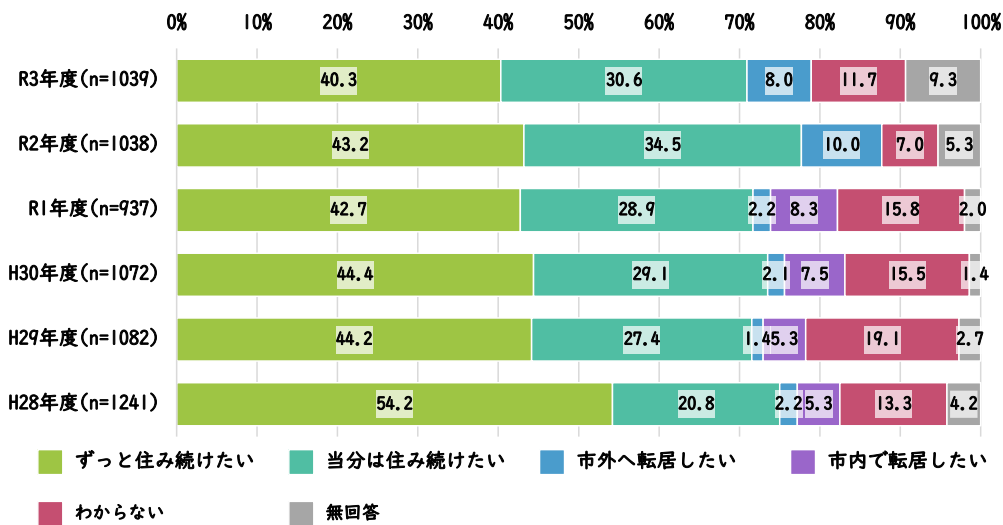
【問16 山鹿市は暮らしやすい街だと思いますか】（年齢別）



山鹿市に対する考えについて（居留意向）

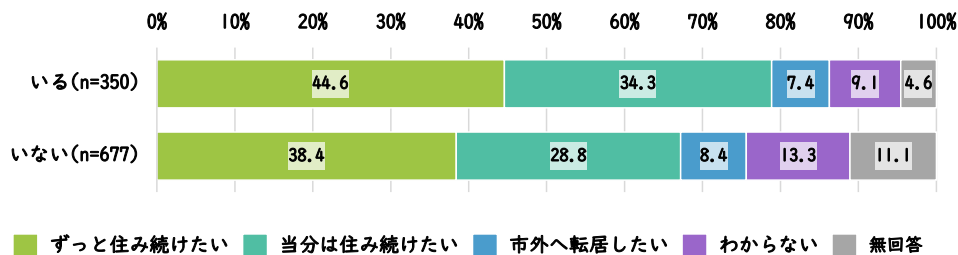
- 山鹿市での居留意向については、「ずっと住み続けたい」が40.3%と最も高く、次いで「当分は住み続けたい」が30.6%となっており、約7割の方が住み続けたいと回答している。
- 山鹿市に「ずっと住み続けたい」「当分は住み続けたい」の合計は、子どものいる方の割合がやや高い。
- 結婚の有無別では、「ずっと住み続けたい」「当分は住み続けたい」の合計は、結婚している方の割合が高く、7割を超えている。

【問18 今後も山鹿市に住み続けたいと思いますか】（全体）

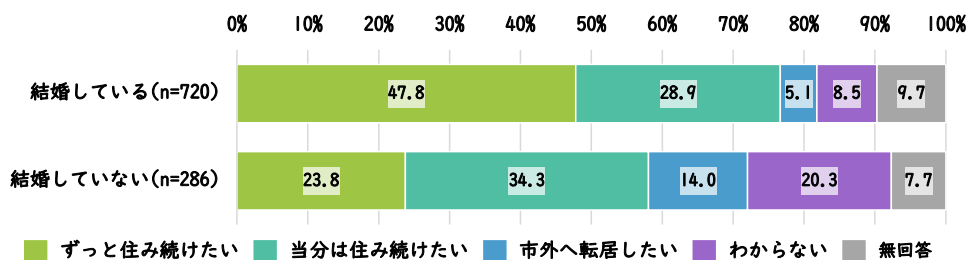


※R2年度以降は「市内で転居したい」の項目なし。

【問18 今後も山鹿市に住み続けたいと思いますか】（子どもの有無別）



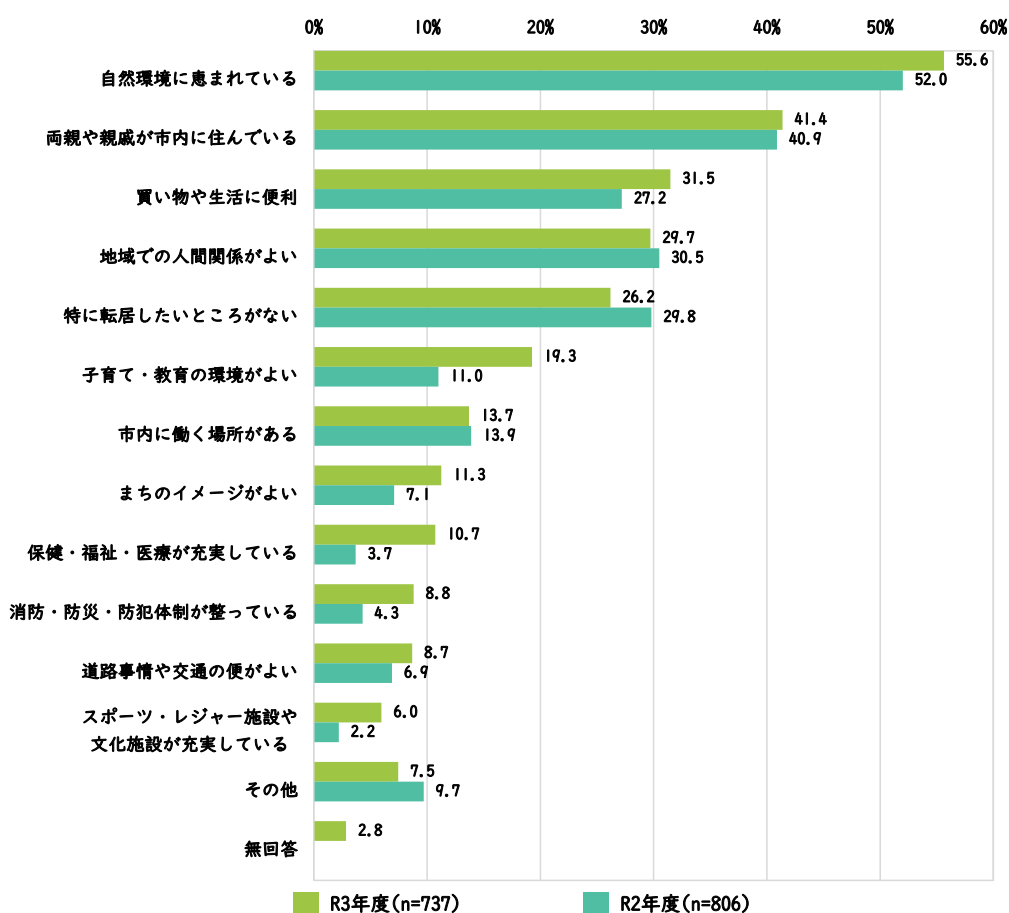
【問18 今後も山鹿市に住み続けたいと思いますか】（結婚の有無別）



山鹿市に対する考えについて（居住希望理由）

- ・「ずっと住みたい」「当分は住みたい」と回答した方の理由として、「自然環境に恵まれている」の割合が 55.6%と最も高く、次いで「両親や親戚が市内に住んでいる」41.4%、「買い物や生活に便利」31.5%となっている。
- ・R2 年度との比較では、「子育て・教育の環境がよい」が 8.3 ポイント、「保健・福祉・医療が充実している」が 7.0 ポイント高くなっている。
- ・その他の意見として、「生まれ育った場所、地元であるため」「持家・土地・墓があるから」「山鹿、温泉が好き」「高齢、介護のため」という意見もあった。

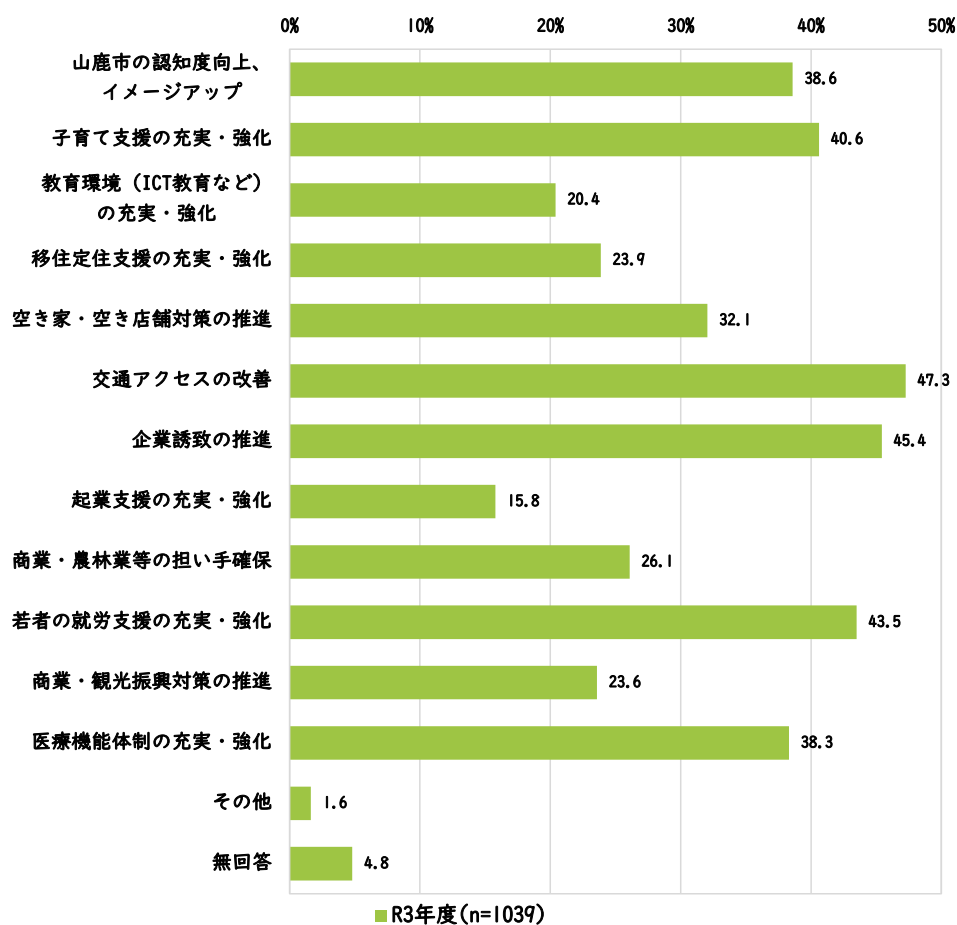
【問 18 住みたい理由（複数回答）】（全体）



山鹿市に対する考えについて（「選ばれる山鹿」になるための重要な取組）

- 市外在住者や企業に「選ばれる山鹿」になるための重要な取組について、「交通アクセスの改善」が47.3%と最も高く、次いで「企業誘致の推進」45.4%、「若者の就労支援の充実・強化」43.5%となっている。
- その他の意見として、「震災、災害に強い地域をアピールする」という意見もあった。

【問19 市外在住者や企業に「選ばれる山鹿」になるため、特に重要と思われる取組】（全体）



【地方創生】市民アンケート総括

〈山鹿市の現状について〉

- ✓人口減少について約 7 割が危機感を感じており、前回とほぼ同様の結果となった。50 代以上の方は危機意識が高い。
- ✓元気度については、前回と同様に、「活気はない」「あまり活気はない」との認識が6割に近い結果となっている。
- ✓農林業の現状についても前回と同様に、「衰退している」「少し衰退している」の割合が6割に近い結果となっている。
- ✓観光産業の現状については、「衰退している」「少し衰退している」45.4%と高く、特に40代以上では5割を超えており、年代が高いほど危機意識を感じている方が多くなっている。

〈人口政策について〉

- ✓人口政策で充実して欲しい取組では、「安心して子育てできる環境づくり」が最も望まれており、次いで「地域の未来を支える人材の育成・確保」、「移住定住の促進」であった。
- ✓満足度では「子育て支援事業」、「小児医療体制の充実」が3割程度と他に比べて高くなっているが、「小児医療体制の充実」については不満足割合も同程度となっている。子育て世代でも同様の結果となっており、自由記述でも産科・小児科の医療体制の充実、夜間・休日の診療体制の整備を望む意見が挙げられている。子育て世代の不安要素を取り除き安心して子育てできる環境を整え、市外への流出を防ぐためにも入院や夜間診療できる救急医療の体制の整備、休日医療対応が早急に求められている。
- ✓重点改善項目（重要度は高いが、満足度が低い）として、「新規就農総合支援事業」、「夢と希望を叶える就労支援事業」が挙げられており、最優先で課題の改善に取り掛かる必要がある。自由記述でも農業で生活できる体制の整備、収入の安定、農業を支える人材育成に力を入れる事が必要との声、農業用機械の大型化・自動化に伴う資金援助、担い手の高齢化に伴う後継者不足、後継者のいない荒れた農地の増加に対する対応を求める意見、また就労できる、就労したい企業がないため、若者の定住の促進や市外への流出防止のためにも、企業誘致をもっと積極的に行ってほしいという意見が多くみられた。

〈経済政策について〉

- ✓ 経済政策では、「食・農・観のステップアップチャレンジ」が最も望まれており、次いで「地域産業の磨き上げと競争力強化」、「新たな交流の促進」であった。
- ✓ 満足度が最も高いのは「豊前街道の歴史的まちなみ再生プロジェクト」となっているが、自由記述では空き家や空き店舗が目立つという意見が多くみられ、入居しやすいような助成金の支給やレンタルルーム的に実験的な開業支援をという具体的な意見、山鹿観光の中心であるため、周辺部を含めた整備、特に公共の交通機関が不便な事を考慮した駐車場の確保が必要であるとの声もみられた。
- ✓ 経済政策に対する満足度はいずれも低くなっているが、その中でも不満足度が最も高いのは「ふるさと未来創造プロジェクト（稼ぐ観光地再生）」となっている。
- ✓ 重要度についてはどの項目も重要視する回答がみられたが、その中でも「ふるさと未来創造プロジェクト（稼ぐ観光地再生）」、「豊前街道の歴史的まちなみ再生プロジェクト」は6割を超えて高くなっている。
- ✓ 重点改善項目（重要度は高いが、満足度が低い）として、「ふるさと未来創造プロジェクト（稼ぐ観光地再生）」についての改善が挙げられており、最優先で課題の改善に取り掛かる必要がある。自由記述では山鹿市全体のブランド不足、PR 不足という声が多くみられた。

〈山鹿市総合計画について〉

- ✓ 将来都市像実現のために重要と思うものについては、「地域資源を活用した産業の振興と雇用の創出」が最も望まれており、次いで「住みやすく子育てしやすい環境の充実」、「健やかで安心して暮らせる地域の実現」であった。年代別では、40代までは「住みやすく子育てしやすい環境の充実」が最も高くなっている。
- ✓ 総合計画の先導施策の満足度について、「満足」「まあ満足」の合計が最も高いのは「誰もが健康で自分らしく輝くまちづくり」、「やや不満」「不満」の合計が最も高いのは「若者が将来への希望を持って自ら伸び育つまちづくり」となっている。
- ✓ 重要度についてはどの項目も「重要」「まあ重要」の合計が5割を超えて高くなっているが、その中でも「安全・安心で災害に強い住み続けたいまちづくり」が7割を超えて高くなっている。結婚されている方、子育て世代では「結婚・出産の希望をかなえ、安心して子育てができるまちづくり」が7割を超えて高くなっている。
- ✓ 重点改善項目（重要度は高いが、満足度が低い）として、「結婚・出産の希望をかなえ、安心して子育てができるまちづくり」「若者が将来への希望を持って自ら伸び育つまちづくり」についての改善が挙げられており、最優先で課題の改善に取り掛かる必要がある。自由記述でも産婦人科、小児科の少なさを訴える声はかなり多くみられ、安心して出産・子育てができるような医療機関の充実に加え、近隣の市町村に比べ助成金等の補助が少ないという意見もあり、子育て支援の充実が求められている。また、雇用の場、学校の少なさから若者が市外や他県に流出してしまうことを懸念する意見がかなり多くみられ、若者が地元に残りたいと思えるような魅力的なまちづくりを求める意見も多くみられた。

〈山鹿市に対する考えについて〉

- ✓暮らしやすさについては、「暮らしやすい」が「暮らしにくい」を上回っているが、「どちらでもない」という回答も3割となっている。
- ✓今後も山鹿市に住み続けたいという方は約7割であった。年代別では、年代が上がるにつれて「ずっと住み続けたい」「当分は住み続けたい」の合計が高くなっているが、年代が下がるほど「市外へ転居したい」の割合が高くなっている。
- ✓住み続けたい理由として、「自然環境に恵まれている」が最も高く、次いで「両親や親戚が市内に住んでいる」、「買い物や生活に便利」となっており、前回との比較では、「子育て・教育の環境がよい」、「保健・福祉・医療が充実している」がやや高くなっている。
- ✓「暮らしにくい」及び「市外へ転居したい」理由として、公共交通機関の少なさやバス路線廃止等による「交通アクセスの不備」を訴える意見がかなり多くみられ、車が必須な生活であるため免許返納後の買い物や通院を心配する声もあった。また、「就労先や病院の少なさ」「商業・娯楽施設がない」「近所付き合いや町内行事が負担」「税金が高い」という意見もみられた。
- ✓市外在住者や企業に「選ばれる山鹿」になるためには、「交通アクセスの改善」、「企業誘致の推進」、「若者の就労支援の充実・強化」が4割を超えて高くなっている。